

沖 医 発 第 1 3 0 号  
平成 3 0 年 4 月 2 7 日

施 設 長 殿

沖 縄 県 医 師 会  
会 長 安 里 哲 好  
(公印省略)

平成 30 年度沖縄県医師会介護保険研修会  
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」の開催について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本会では、一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会との共同により、下記のとおり「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」を開催致します。

本講座では、人生の最終段階に共通する自然経過・自宅・介護施設で求められる症状緩和や、意思決定支援の基礎知識を学ぶとともに、援助的コミュニケーションについて、ロールプレイを交えて学んだうえで、エンドオブライフ・ケアの中でも特に難しいとされるスピリチュアルペインに対するケアについて、1対1の対応方法から多職種連携で行う支援方法等を学ぶことを目的に開催致します。

つきましては、ご多忙の折誠に恐縮に存じますが、本講座へ是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。また本講座は、医師だけでなく在宅医療・介護関係者の方々にもご参加いただきたいと考えておりますので、貴管下関係者への周知方につきましてもご高配賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、資料の準備等ございますので参加希望の方は、別紙参加申込書にご記入のうえ、来る 5 月 16 日 (水) までに本会宛 FAX (098-888-0089) 又は郵送にてお申し込み下さい。

記

日 程：平成 30 年 5 月 26 日 (土)、27 日 (日)

時 間：一日目 9:00-17:30 (講義と演習)、二日目 9:00-17:00 (総合演習)

※開業医につきましては、一日目は午後 1 時からの参加も認めております。

会 場：沖縄県医師会館 3 階ホール

対 象：医療・介護・福祉従事者、行政職員、在宅医療コーディネーター等

定 員：100 名

受講料：3,000 円

※まだ案の段階となっており、研修時間等に変更が出る可能性がありますことを予めご了承下さい。

沖縄県医師会業務第2課 行 (FAX:098-888-0089)

平成30年度沖縄県医師会介護保険研修会  
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」の開催について

<参加申込書>

日 程：平成30年5月26日(土)、27日(日)

時 間：一日目9:00-17:30(講義と演習)、二日目9:00-17:00(総合演習)

※開業医につきましては、一日目は午後1時からの参加も認めております。

※備考欄にその旨をご記入ください。

会 場：沖縄県医師会館3階ホール

対 象：医療・介護・福祉従事者、行政職員、在宅医療コーディネーター等

定 員：100名

受講料：3,000円

	氏名	職種	備考
1			
2			
3			

施設名：\_\_\_\_\_

※参加申し込みは来る5月16日(水)までに本会宛 (FAX:098-888-0089) にお申し込み下さい。

※関係資料は当日配布致します。

※受講料は当日に徴収させていただきます。

※2日間とも、昼食は各自でご用意下さいますようお願い致します。

※ご不明な点等ございましたら、沖縄県医師会事務局業務2課 (TEL:098-888-0087) までお問合せ下さい。

# エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座 in 沖縄

看取りへの「苦手意識」から「関わる自信」へ  
人生の最終段階（エンドオブライフ）をケアできる人材育成プログラム



- ◆ 日程 : 2018年5月26日(土) 27日(日)
- ◆ 時間 : 一日目 9:00-17:30、二日目 9:00-17:00  
※開業医につきましては、一日目は午後1時からの参加も認めております。
- ◆ 会場 : 沖縄県医師会館 3階ホール
- ◆ 対象 : 医療・介護・福祉従事者、行政職員、在宅医療コーディネーター等
- ◆ 定員 : 100名
- ◆ 受講料 : 3,000円

## 講座概要

人生の最終段階にある人やその家族と関わる事を苦手と感じる人は少なくありません。日に日に食事が少なくなり、やがて寝ついていく人と、どのように関わってよいかわからない援助者が、自信を持って支援にあたるようになることを目的として、この講座は企画されました。解決が困難な苦しみを抱えた人に接しても、“援助を言葉にする”ことで、医療・介護の仕事を問わず、一人ひとりが自信を持って人生の最終段階にある人と関われるようになることを目指します。

人生の最終段階に共通する自然経過、自宅・介護施設で求められる症状緩和や、意思決定支援の基礎知識のほか、**エンドオブライフ・ケアの中でも特に難しいとされるスピリチュアルペインに対するケアについて、1対1での対応方法から多職種連携で行う支援方法まで学びます。**



### 対象

医療・介護・福祉従事者、行政職員、在宅医療コーディネーター等

### 受講前提

※事例検討やロールプレイを行うため、基本的に下記を満たしている方を対象としています。前提を満たしていない方もスタッフがサポートいたしますのでご参加ください。

- 医療・介護の現場経験 1年以上
- 人生の最終段階に現在関わっている、過去に関わっていた、あるいは、これから関わろうとしている



### 申込方法

#### ● FAX、郵送

別紙開催案内に添付の「参加申込書」に必要な事項をご記入の上、5月16日(水)までに FAX または郵送でお送りください。

※ご不明な点等ございましたら、沖縄県医師会事務局業務2課 (TEL:098-888-0087) までお問合せ下さい。

### 受講料

● 3,000円

## 講師 小澤 竹俊

当協会理事・めぐみ在宅クリニック院長

1963年東京生まれ。世の中で一番、苦しんでいる人のために働きたいと願い、医師を志し、1987年東京慈恵会医科大学医学部医学科卒業。1991年山形大学大学院医学研究科医学専攻博士課程修了。救命救急センター、農村医療に従事した後、1994年より横浜産生病院 内科・ホスピス勤務、1996年にはホスピス病棟長となる。2006年めぐみ在宅クリニックを開院、院長として現在に至る。2000年より学校を中心に「いのちの授業」を展開。2013年より、人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトを開始。2015年4月、当協会設立。



## 学習要素

1. 課題背景 (2025年問題に備えて)
2. 人生の最終段階に共通する自然経過
3. 苦しむ人への援助と5つの課題
4. 意思決定支援
5. 自宅・介護施設で求められる症状緩和
6. 多職種連携で「援助」を言葉にする (マクロ)
7. 1対1で対応する (ミクロ)



## 受講者の声

- 30年余の看護業務の中で、苦手意識を持っていた人生の最終段階におけるかかわりについて、具体的に教えていただきました。
- 介護職として寄り添えることがたくさんあり、言語化、反復、沈黙は介護職でもできるということを学ばせていただきました。
- 人生の最終段階を迎えた人に、声をかける内容は、これまで数少なかった。相手を知ること、声掛けの幅を広げることができることを今回学んだ。
- 多職種の方々とたくさんの学びを共にさせていただき、援助を仕事にすることへの怖さが解消された。
- 援助者として、相手を理解して、支えて、問題を解決して・・・と、今まで考えていたことが間違っていて、その間違いが自分に焦りや苦手感を与えていたという事がわかり、考え方が変わりました。



一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

電話: (03) 6435-6404 (土日祝日を除き10:00~17:00)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目17番1号 TOKYU REIT 虎ノ門ビル6階

Web: <http://endoflifecare.or.jp/> facebook: <https://www.facebook.com/endoflifecare.or.jp> e-mail: [info@endoflifecare.or.jp](mailto:info@endoflifecare.or.jp)